

上演

5



楽屋インタビュー

1. 本番を終えて、どんな気分ですか？

- ・とても疲れましたが最後までやり切れてよかったと思います！
- ・最高の気分です！
- ・観客の方が沢山笑ってくれて、会場のみなさんと一緒に舞台が作れて幸せです！

2. 本番中のハプニング

- ・テンボが物凄く早かった！（音響・照明がめちゃくちゃ焦った…）
- ・セリフかんだしミスってしまった・・・
- ・単サスからはずれてしまったぁ・・・
- ・焦ったぁ ・くつひもほどけた！

3. 思い出に残った台詞

「反対！絶対反対！」「絶対！絶対絶対反対！」
「女子校じゃなきゃダメなの！」



4. 大会期間中、部活内で流行ったワードとか行為とか

- ・「応答せよ！応答せよ！」とこのセリフのポーズ
- ・守れ女子高！

5. 見てくれたお客さんに向けて

- ・女子校は不滅です！守れ女子校！守れ女子高！
見てくれたみなさん！沢山笑ってくれてありがとうございました！
ぜひ岩手女子のファンになって帰ってください♡



お客さんインタビュー

●舞台上のみで完結せず、多岐にわたるジャンルのネタを観客と一体になって演じており、どんな年代にも刺さる作品であると感じた。

●女子高ならではの特徴や、恋愛に起こる様々な葛藤や思い、叱咤の反応などがかみ合い、笑える作品ながらも伏線の張り巡らされた思慮深い作品でした。



運営委員が観た！
この劇の感想

●役者の動きが元気でダンスのキレも良く見ていて楽しかった。垂れ幕が紐を引くと落ちてきたり、手拍子を促すなどの客席を巻き込んだりと演出がすごかった。恋愛ものだと思っていた話が一転して共学化か女子高のままかという話になって驚いた。女子高に対する思いに共感できた。宮城のことも色々ネタとして入っていて面白かった。 担当：高橋(塩釜)

●物語の展開の工夫に圧倒された。細かな動作や役者同士の会話に、キャラクターが生きていると感じ目が離せなかった。女子高ならではの想いを観客と対話しながら届けていく姿、舞台上から駆け降りていく最後など、舞台の上だけに縛られず会場全体を使う斬新なアイディアは唯一無二で舌を巻いた。役者と観客が一緒に楽しめる素敵な劇だった。 担当：佐々木(仙台三)